



# ナマズの知恵袋

平成21年(2009年)11月1日  
編集・発行 滋賀県立図書館

## 気象災害あれこれ...空から降ってくる災厄

地震は以前の号でも採り上げましたが、私たちにとって一番身近な自然の脅威は、台風・大雨・雷といった、気象災害ではないでしょうか。大きな地震を経験したことはなくても、台風に遭ったことのない人はまずいないはず。そこで今回は、気象がもたらす様々な災害を扱った資料をご紹介します。

### 《伊勢湾台風から50年》

1959(昭和34)年9月26日に東海地方を直撃した伊勢湾台風は、死者・行方不明者5098名という、わが国の台風観測史上最悪の災害をもたらしました。今年はその50年を迎えます。

- '**忘れない伊勢湾台風50年**、 中日新聞社出版部編 中日新聞社(2009年) YB-5174-チ  
写真記録集。当時と現在の光景を比較したものや、個人の体験談も掲載されています。
- '**1959年伊勢湾台風報告書**、 中央防災会議災害教訓の継承に関する専門調査会(2008年) YB-3693-イ  
被害状況・災害の特性・救済措置・国民生活への影響など、伊勢湾台風被害に関する総合的な報告書。この台風が契機となって設けられた災害対策基本法の制定事情についても詳しく書かれています。
- '**伊勢湾台風記録 上・下**、 中部日本新聞社(1959年) 3B-3693-イ  
昭和34年9月26日から11月26日までの2ヶ月間をカバーした中部日本新聞の縮刷版。当時の生の情報を読むことができます。
- '**台風・気象災害全史**、 宮澤清治・日外アソシエーツ編集部編 日外アソシエーツ(2008年) R-4519-ミ  
古代から現代までの日本の気象災害を年代順に網羅。伊勢湾台風などの大規模災害は、「大災害の系譜」として別個詳細に記述されています。

### 《台風をめぐる色々なギモンには》

- '**台風学入門**、  
村山貢司著 山と溪谷社(2006年) G-4515-ム
- '**台風:気象報道の現場より**、  
渡辺博栄著 数研出版(2005年) G-4515-リ
- '**台風の科学**、  
大西晴夫著 日本放送出版協会(1992年)  
Y-4515-オ

### 《台風予報の実現に向けて》

甚大な被害をもたらす台風の進路を予報することは、わが国の気象関係者にとって長年の悲願でした。現在の台風予報・情報にいたるまでの足跡と、新しい予報システムについてはこちら...

- '**台風と闘った観測船**、 饒村曜著 成山堂書店(2002年) G-4512-ニ  
1948(昭和23)年から1981(昭和56)年まで続けられた、台風の通り道に常駐して定点観測を行った観測船のことが書かれています。
- '**変わる富士山測候所**、 江戸川大学土器屋由紀子ゼミ編 春風社(2004年) G-4512-イ  
1932(昭和7)年から気象観測が始まり、半径800kmをカバーする気象レーダーを備え「台風の砦」と呼ばれました。その測候所も1999(平成11)年11月には役目を終えています。
- '**天気予報いまむかし**、 股野宏志著 成山堂書店(2008年) G-4512-マ
- '**気象観測マニア!**、 講談社(2005年) G-4512-キ  
台風観測船や富士山測候所の役割を受け継いだ気象衛星ひまわり、アメダスの働きやスーパーコンピュータによる数値予報といった最新の気象観測機器と、天気・気象のしくみがわかります。



### 児童室にも資料があります

- '**自然災害の恐怖 1~4巻**  
「タイム」編集部編 ゆまに書房(2008年)  
J-45
- '**防災授業 僕たち自然災害を学び隊**  
山本哲朗著 電気書院刊(2005年) J-51

## 風雪 雷 竜巻 ... 自然災害を防ぐには

台風や地震に限らず、いつ起こるかわからない自然災害はたくさんあります。災害からいかに身を守るか、そのメカニズムや対処法について調べてみましょう。

### 『自然災害の事典』 岡田義光編集 朝倉書店(2007年) R-3693-オ

自然災害の複雑なメカニズムや特徴について書かれています。地震のほか火山災害・台風・竜巻や雪氷災害、土砂災害についての説明と、災害年表が載っています。

### 『防災から見た季節と天気』 富沢勝著 誠文堂新光社(2005年) G-4519-ト

3月の“春の雪崩”から“雹”“落雷”“豪雪”など、季節ごとの特徴的な気象災害の事例がわかりやすく書かれています。

### 『わかりやすい雷害対策』 雷害リスク提言コンソーシアム監修 日本実務出版(2004年) G-4517-ウ

建物や樹木、人に直接落ちる「直撃雷」から、かつては思いもよらなかった電子機器を脅かす新しい「雷害」が起こっています。防ぐための対策、技術について書かれています。

### 『土砂災害の警戒・避難システム』

小川滋・保田哲也・平松晋也編著 九州大学出版会  
(2006年) G-3693-オ

気象情報や土砂崩壊・流動の解説と、様々な情報をいかに生かし災害の回避に結びつけるかが書かれています。

### 『自然災害ハンドブック』 山と溪谷社(2004年) G-3693-エ

地震や津波、火災、噴火、台風、雷についての基礎的な知識と、食料・水の備蓄、避難の際の心得、通信・連絡手段、救急法など非常時の対策が載っています。

### 県内の気象や地震の記録は...

彦根地方気象台の資料で見られます。

『滋賀県の気象』(月報・年報)

『滋賀県の農業気象速報』(旬刊)

『滋賀県の地震』(月刊)

気象台のホームページでは、警報や注意報、災害情報なども見られます。

<http://www.osaka-jma.go.jp/hikone/>

**水害を知る：** 年間を通して水害がどれくらい発生しているか見てみましょう。

### 『水害統計 平成19年版』 国土交通省河川局河川計画課編(2009年) YB-5174-ス

日本国内で発生した洪水、内水、高潮、土石流などの水害とその被害状況を集計した統計書です。

### 『水害レポート』 日本河川協会編(2007年) YB-5174-ス

写真で見る水害の統計書。1年間に国内で発生した水害を、地方別に写真と説明で紹介しています。

## 滋賀県の水害の記録



### 『近畿水害写真集』 近畿建設局河川部監修 近畿建設協会(1981年) YB-5174-キ

近畿地方の主な水害に関する概要・新聞記事・写真を収録した写真集。昭和28年から昭和56年まで、琵琶湖流域で起きた「伊勢湾台風」や豪雨の新聞記事や写真を見ることができます。

### 『滋賀県災害誌 1~4巻』 滋賀県総務部消防防災課・彦根地方気象台編 滋賀県(1966年) S-3600-1~4

琵琶湖で記録に残る過去最大の洪水は、明治29年(1896)9月の大洪水でした。台風と前線により水位が+3.76mまで上昇し、周辺の水田は湖水となり、集落は水没し舟で行き来していました。古代から

滋賀県ホームページで、

現代までの災害の歴史がわかる文献です。

防災・安全安心情報が見られます。

『滋賀県の気象』彦根地方気象台創立100周年記念

緊急情報・被害状況や防災関連情報、

彦根地方気象台編集 大蔵省印刷局(1993年) S-4500-93

災害時に役立つサイトなども

彦根気象台の歩みと、台風による風水害や大雨・大雪・強

紹介されています。

風、天気予報と主な地震について解説されています。